

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道414号 静岡バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県沼津市口野 至：静岡県沼津市下香貫	延長	5.1 km		
事業概要	国道414号は、下田市から沼津市に至る延長約6.8kmの主要な幹線道路であるほか、観光を中心とした伊豆地域の産業や地域の生活基盤として重要な路線である。静岡バイパスは朝夕の慢性的な渋滞を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長5.1kmの2車線（完成4車線）道路である。				
H6年度事業化	S9年度都市計画決定 （H6年度変更）	H7年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約150億円	事業進捗率	38.8%	供用済延長	0 km
計画交通量	15,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C （事業全体）7.2 （残事業）15.0	総費用 （事業全体）73/152億円 事業費：63/142億円 維持管理費：10/10億円	総便益 （事業全体）1,098/1,098億円 走行時間短縮便益：1,038/1,038億円 走行費用減少便益：56/56億円 交通事故減少便益：4/4億円	基準年	平成15年
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他9項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道414号は沼津市南部地域はもとより伊豆地域の産業・経済・観光等において重要な役割を果たす幹線道路であることから、地元の沼津市より早期完成の要望（平施15年6月）を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	伊豆半島を中心とした地域交流の活性化に伴い当該路線への交通需要が高まっており、沼津市下香貫地区周辺における交通渋滞は深刻化している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業着手以来、多額の用地補償費を要する市街地区間について用地買収を進めてきたが、平成13年度には部分供用に向けた用地取得の目的が立ったことから、道路工に着手している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地価が高く用地買収に多額の費用と期間を要しているものの、早期にかつ効率的な事業効果を発現させるため、市街地側の下香貫地区～大平地区について部分的な供用を図ることで事業を進めている。				
施設の構造や工法の変更等	大規模構造物の設計施工にあたり、新技術・新工法の活用やVE提案等の入札方式の採用による積極的なコスト縮減に努める。大規模構造物等の事業手法として有料道路事業の活用を検討する。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<p>The map illustrates the Shizuoka Bypass (静岡バイパス) project, a 5.1 km route connecting Shimizu City (沼津市) to Shimizu City (沼津市). The route includes two tunnels: Tunnel 1 (1号トンネル, L=1,165m) and Tunnel 2 (2号トンネル, L=1,735m). Key locations and infrastructure shown include JR Shimizu Station (JR沼津駅), Shimizu River (狩野川), Shimizu Bay (駿河湾), and various interchanges (大平IC, 花坂IC, 口野交差点). The map also indicates the project's extent from Shimizu City to Shimizu City, with a north-south orientation.</p>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。